

社会科見学で学んだこと

今村 友綾

大刀洗町立 菊池小学校

わたしは、社会科見学で福童浄化センターに行きました。そこで、初めて知ったことや分かったことが大きく三つあります。

一つ目は、センターの心臓ともいえる「中央かんし室」という部屋があるということです。ここでは、機械に異常がないかとか、今どんなことが起こっているのかをかくにんしたり、センターのしせつの中にある機械を動かしたりするところです。休みなく動いているので、ここでもかんしするのもしみがないそうです。だから、二十四時間を三人で、交代で行っているそうです。とても大変だなあ、すごいなあと思いました。

二つ目は下水なので、よごれた水がやってくるから、機械がよごれてしまうので、ほぼ毎日、メンテナンスをしているということです。よごれた水をきれいにしてからでないと川に流せません。せつかくきれいにした水なのに、機械がよごれては大変です。毎日メンテナンスをするということは、そこで働く人がいるということも初めて分かり、びつくりしました。

三つ目は、「水しより棟」というところがあるということです。「水しより棟」では、「活性くん」がよごれた水の中の小さなよごれを食べてくれたり、砂で水をこして、大きなよごれを取ったりするところです。水をきれいにするために、び生物の「活性くん」を使っていることにもびつくりしました。そして、「水しより棟」を実際に歩いてみて、長い道のりだなと思いました。とても広くて大きいことに

おどろきました。この社会科見学を通して、たくさんのお話を聞きました。センターの方が、やさしく、ていねいに教えてくださったおかげです。

わたしは、見学を終えて、今までの自分の生活をふり返ってみました。わたしはいつもお風呂で、シャワーの水を出しっぱなしにして使うなど、水のむだ使いをしていました。よごれた水をきれいにして川に流すまでに、たくさん時間と人の力が必要だと知り、これからは、水のむだ使いをしないようにしようと思いました。また、最後に、所長さんが言われたことがあります。「活性くん」は油が苦手だそうです。だから、油を水といっしょに流さないでほしいそうです。それからトイレに流すのは、トイレトーパーを使ってほしいということなんです。ティッシュペーパーだと水にとけにくく、つまりの原因になるそうです。これからは、絶対に油を流さない、トイレトーパーを使うということを守りたいと思いました。家の人や学校の友達にも伝えて、みんなで取り組みたいと思います。